

## 明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金の概要

### 1. 経緯

明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金は、平成 11 年 3 月の歴史的風土審議会答申を踏まえ、明日香村において歴史的風土を創造的に活用するという新たな政策課題に対応するとともに、国民共有の財産である明日香村の歴史的風土を保全活用するという課題に対応するために設けられた措置である。

### 2. 目的

明日香村の歴史的風土の創造的活用により、学び、体験し、実感できる歴史文化学習の場としての整備を推進するため、明日香村が行う事業について助成することを目的とする。

### 3. 制度の概要

(1) 交付対象：明日香村

(2) 交付実績：予算額 100,000 千円 / 各年度

平成 12 年度（創設）～平成 16 年度（当面 5 年間の措置）

\* 上記のほか、奈良県から、25,000 千円 / 各年度

(3) 交付対象事業

村が次に掲げる歴史的風土創造的活用事業を実施するために必要な経費について、交付金を交付する。

〔明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金交付要綱〕

歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備に関する事業

明日香村にふさわしい景観創出に関する事業

歴史的風土を活用した地域産業振興に関する事業

歴史的風土の保存についての国民啓発に関する事業

# 明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金対象事業一覧

【平成12年度～平成15年度 交付要綱に基づき実施した 事業】

1 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備に関する事業			
事業名	事業内容	事業例等	備考
歴史遺産散策路整備事業	歴史的文化的遺産をネットワークする周遊歩道について、観光来訪者等が安全かつ快適に周遊できる魅力的な散策路として再整備を図る。	周辺景観と調和した自然色舗装や石畳、路肩の自然石石積等	村事業
史跡地環境整備事業	国民共有の歴史的文化的資産である文化財を後世に継承するとともに、歴史的風土の醸し出す魅力を一層創出させるため、遺跡周辺の環境整備を実施する。	真砂土舗装、休憩施設、駐輪場等の整備	村事業
2 明日香村にふさわしい景観創出に関する事業			
歴史的集落景観創出事業	建築物等の新築、増築、改築等を行う場合に、意匠形態等を歴史的風土と調和させるために、屋根、外壁等について指定した外観仕上げ材等で施工した場合の一部助成を行う。	日本瓦の屋根、しっくい塗りの外壁仕上げ助成など	住民(補助)
小規模農業基盤整備事業	小規模な農業用排水路・農道・災害による畦畔並びに圃場整備事業で補助対象とならないものについて、農地保全及び景観維持の観点に配慮した整備を図る。	業経営の継続を図る上での用水確保、農作業の省力化・農業の近代化に必要な基盤整備	村事業
特色のある集落環境整備事業	歴史的風土と調和した快適な生活空間を創出するため、史跡地に通じる道路や特徴のある家並みが残る集落などを重点に道路、排水路などの公共施設を対象に自然色舗装など特色のある質の高い整備を行う。	橋寺、川原寺、岡寺参道等における高品質舗装、石畳、和風灯の設置	村事業
万葉の田園回復事業	耕作放棄地・遊休地を農地として回復し、景観形成作物の作付けや都市住民との交流のための貸し農園などの活用を図りながら、歴史的風土の重要な景観要素として適正な維持管理を行う。	大豆、麦、菜種の植付け等	地域振興公社(委託)
3 歴史的風土を活用した地域産業振興に関する事業			
「農商工」活性化支援事業	明日香村の歴史的風土が育ててきた農産物、工芸品等について、村独自の特産品としての開発、情報発信を推進することにより、「農商工」の地域産業の活性化を図る。		地域振興公社(委託)
飛鳥時代の工芸品の復元及び体験工房の開発	飛鳥工房遺跡の発掘調査により解明された出土品等を実験考古学的に考察を加え、飛鳥時代の製造技法を復元し、広く国民にその技術を情報発信すると共に工芸品等の特産品開発にも活用を図る。	ガラス、鋳物(富本銭等)、彫金、宝石などの製造技法	
明日香古来の食材の復元	明日香の風土に適合した食材や古来からの食材などを復元するための調査研究と実験栽培を行い、明日香古代食の復元や新たなメニュー開発を行う。	山菜(ゼンマイ、タラノメ等)、花卉(紅花、アジサイ等)の古来種	
農林産物・加工品の開発	都市住民に新鮮なもぎたて野菜などを提供するため、明日香ブランドの農林産物の特産品開発を行い栽培農家の経営安定化を図ると共に、農林産物の加工品の特産開発を行う。	明日香ブランド…イチゴ、大豆など	
販路の開拓	農林産物・加工品・工芸品等の特産品の市場調査を踏まえて、流通ルートの開拓を行うとともに、ホームページの開設等による情報提供を行う		
4 歴史的風土の保存に関する国民への啓発に関する事業			
各種オーナー制度の推進	集落や営農集団などがオーナー制を通して、都市と農村の協働(交流)による地域づくりを行い、歴史的風土の維持保全を図る。	棚田オーナー、土つき野菜オーナー、芋掘りオーナー、うまし酒オーナー、森の手作り塾、1本木オーナー	地域振興公社(委託)
棚田ルネッサンス事業	歴史的景観の保全と「農」の活性化を図るため、農業体験や交流事業を通して都市住民との協働による地域づくりを図る。	(都市交流イベント)恋華祭り、彼岸花祭り、案山子コンテスト、棚田フォーラムなど	彼岸花祭り実行委員会等(委託)
ボランティアによる歴史的風土保存の推進	国民と村民の協調による保存を図るために、広くボランティアを募集し、歴史的風土を構成する重要な里山、竹林、飛鳥川、荒廃農地などで環境保全活動を展開するほか、古都「飛鳥」に脈々と流れる民族文化等を広く国民に啓発することで文化的価値の再認識を促し、歴史的風土の保存を図る。	(ボランティア組織)あすか守り隊、飛鳥川の原風景を取り戻す仲間会、村伝承芸能保存会(主な活動事業)・花咲かプラン・竹林と里山整備・飛鳥川流域周辺整備	地域振興公社(委託)
			地域振興公社(委託)
明日香魅力再発見事業	明日香村の歴史的風土を創造的に活用し、体験や学習の場として整備するためには、明日香村の歴史・文化に関する魅力を十分に認識し、内外に情報発信することが重要であり、普及啓発事業の積極的な展開を図る。		村事業
歴史的風土保存・活用冊子の作成	明日香村の歴史的風土やその活用に対する施策及び現状を広く国民に啓発するための冊子を作成する。	明日香村の施策等の啓発冊子	村事業
飛鳥の考古学図録作成	村民はもとより国民に明日香の遺跡について紹介し、埋蔵文化財保護への理解と歴史的・文化的知識を養ってもらえるよう情報発信する。	『飛鳥の考古学図録』をシリーズで刊行	村事業
“あすか”全国縦断講演会の開催	古都飛鳥1400年の眠りから蘇る遺跡等の保存とその創造的活用のあり方を考える上で、全国で唯一、村全域を明日香法により厳しく規制され、歴史的風土が保存されていることの国家的意義や住民の果たす役割、地域の活性化のあり方などを通して広く全国に情報発信する。	『明日香村まるごと博物館フォーラム』の開催	村事業